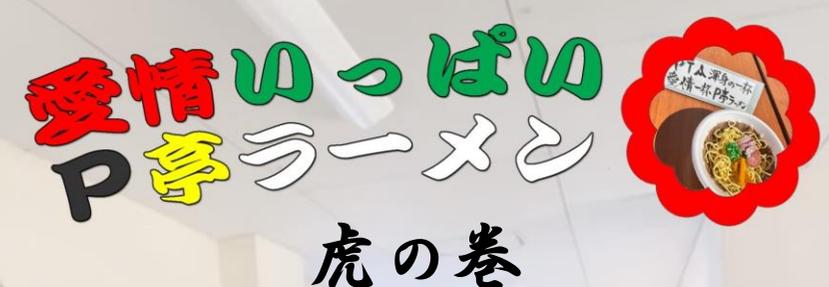


| | | | |
|---|--|--------------------|--------------------|
| PTA活動紹介 | | 高P連受付番号 | 4 |
| PTA(学校)名 | 愛知県立惟信高等学校 | | 部門No. 2 |
| 活動テーマ | 終祭PTA模擬店「愛情いっぱいP亭ラーメン」 | | |
| キーワード | 力を合わせて頑張る姿 | 人を思いやる姿 | 大人の楽しむ姿 |
| 開催日 | 令和6年9月20日(金) | | |
| 場所 | 愛知県立惟信高等学校内(厨房:購買スペース 食堂:第一学習室、3年3組教室 計2部屋) | | |
| 時間 | 午前10時～午後3時20分 | | |
| 参加者 | 前日用意:PTA役員19名、委員17名、教員1名 当日運営:PTA役員22名、委員21名、教員5名 | | |
| 趣旨 | 模擬店としてPTAで運営し、学校行事の最大イベントである学校祭(終祭)の1ページに彩りを添えつつ、生徒たちの胃袋を満たし、誰かのために無償で頑張る姿や、集まった十人十色の仲間といかに心を通わせ、行事を成功へと導くか、大人として手本を示す。多感な年頃の彼らに言葉ではなく行動で見せることにより、在校中はもちろんのこと、高校卒業後に社会の一員としてどうあるべきか、目的意識をはっきり持ち、考え、行動することによって、決められた規律の中でも大いに楽しむことができるということを感じ取ってもらうことを目的とする。 | | |
| 活動ポイント | 衛生面やスタッフの体調(熱中症等)に気をつけ、厨房は役員、食堂は委員と役割分担し、普段学校では食べることでできないラーメンをつくり、教室をフードコートのような雰囲気にして、パワーと愛情をチャージするための空間を提供する。 | | |
| 主体委員会名・講師名等 | 愛知県立惟信高等学校PTA | | |
| 1. 事前準備 | | 主なスケジュール | |
| 1) P亭ラーメン会議 計4回開催 6月、7月、8月、9月 | 月 | 内容 | 渉外 |
| 2) 前日準備 13時～ 買い出し、注文品引取り 13時20分～前売りチケット最終販売 15時～ 全員集合、買出し品荷下ろし 最終確認 厨房と会場の大掃除と設営 17時30分 準備完了、解散 | 6月 | 模擬店実施の可否決定 | |
| | 7月 | 昨年度の実施要項を踏まえ改善策を練る | 場所を借りるため購買業者へ許可を得る |
| | 8月 | 進捗状況の確認及び調理担当の割振り | 業者へ調理道具と材料等の発注 |
| | 9月 | 検便提出(役員のみ)最終確認 | アレルギー食材を業者へ確認 |
| | | 体育館にて、学年ごとのチケット販売 | |
| 2. 終祭当日 | | 役割分担 | |
| 7時20分～厨房機器等受け取り立合い | 厨房 | 役員 | 調理 |
| 8時～ 役員全員集合、厨房準備開始(コンロ着火) | 食堂 | 委員 | 接客 |
| 9時20分～委員全員集合、試食 | 13時～ | 在校生向け当日チケット販売開始 | |
| 9時40分～体育館にてPR | 14時50分 | オーダーストップ(コンロ消火) | |
| 9時45分～開店前に心をつなげる円陣 | 15時20分～17時30分 | 片付け | |
| 10時～ 開店、来校者向けチケット販売開始 | 17時50分 | 記念撮影、一本締め、解散 | |



愛情いっぱいP亭ラーメン

虎の巻

壹、心を一つにすべし

「生徒に喜んで食べてほしい!!」そんな思いはそれぞれあるものの、心が一つにならなくては始まらない。PTA役員、委員、教員の心を一つにするため、開店前に円陣を組んで仲間意識を高める。役員会や委員会、普段はおすまじしていても、ひとたび大きな輪になるとやる気と仲間意識が増し、一つの目標に向かって成功を目指し、互いに思いやり積極的に助け合う気持ちが生まれる。

貳、無駄な遠慮は無用

美味しいラーメンを作るため、会議で意見を出し合うのはもちろんのこと、ラーメンを作る最初の味見の段階で素直に意見を述べる。作業中も運ぶ人や残飯を処理する人のことを考え、飲みきれない量のスープにならないように、多くなっているようであれば遠慮なく指摘し、調理係はそれに応えて調整する。

参、声を聴き復唱する

注文が入ったら最も遠い場所で作業する麺茹での人に伝わるよう、他の作業の人でも声を出して全員に周知できるよう声を出し合う。

肆、誠意をもって作業すべし

調理係は、次の工程に進める時に必ず「お願いします」と一言添えて次に繋げ、一杯一杯心を込めて完成させる。

伍、積極的に楽しむ

せっかくやるなら楽しんで、楽しむためにはどうすればいいか。一杯のラーメンを作る過程の中で何をどうすればスムーズに進み楽しいと感じられるのか。会議を重ねてきた成果を実行に移し、異なった場合は臨機応変に対処し、それすらもイベントとして受け入れ、楽しむことを忘れない。

陸、PTA活動に繋げる

良かった点、悪かった点の率直な意見を出し合い、次はどうしたらもっと良くなるのか、話し合いをする中で様々な考え方を知ることができ、互いに尊重し合うことで、人間関係が深まる。延いてはより良いPTA活動へと繋がる。

柒、「P亭ラーメンどうだった？」

良いことも悪いことも我が子に話してあげると思わぬ共感が返ってくる。そして、学校での様子を知ることができる。PTA活動をきっかけに、親も子どもの気持ちがあわかったり、子どもにも親の気持ちがわかったり、ある意味同じ目線で子どもとのやり取りができる。PTA活動は親として今しかできないとても貴重な活動である。